

8 市町村営住宅の建設

—地域特性に応じた多様な住宅の供給に向けて—

1 市町村営住宅

現在石川県内には公営住宅が約 12,000 戸あり、そのうちの約 6 割の、約 7,000 戸が市町村営住宅である。県は、市町村が住宅を建設する際に、基本計画や、各種設計等についての指導を行っている。

市町村営の公的賃貸住宅は、低所得者向けの公営住宅と、中堅所得者を対象とし定住促進をはかる特定公共賃貸住宅の二つを核として整備が行われている。その中でも高齢者に対して特に配慮を行ったシルバーハウジング、地域文化の継承を目指す木造住宅など、地域の需要や風土に合わせた住宅供給がなされている。

2 事例

(1) 公営住宅

万行団地（七尾市）

事業年度 H14-16、RC 造 3-4F

公営 30 戸

【新設】

土地区画整理事業の保留地に建設された。周辺地区に開放されたポケットパーク、緑地等を一体的に整備することにより、周辺環境に配慮している。

共用廊下の面格子・ベランダ手摺の紅色と、黒と白の壁によるメリハリの利いた外観となっている。



万行団地

天神町団地（小松市）

事業年度 H14、RC 造 5F

公営 45 戸（予定）

【建替】

空港に近接することから、防音サッシの採用、片廊下部分への建具設置など、良好な居住空間を確保するための配慮がなされている。また、小松市における住宅のニーズに応じるため、1LDK など小規模な住戸の割合が高い。



天神町団地

(2) 特定公共賃貸住宅

穴水駅西団地（穴水町）

事業年度 H14-15、RC 造 3F

21 戸（特公賃 4 戸、公営 17 戸）

【新設】



穴水駅西団地

「公営住宅と特定公共賃貸住宅」「高齢者向け住戸と一般住戸」「大小様々な住戸タイプ」が混在する、ソーシャルミックスを意識した計画である。

また、古くからの林業地帯であることを踏まえ、アテ・杉などの地域産材の活用がなされている(住戸玄関前に設置された防風・防雪スクリーン、廊下手すりの堅格子等)。

(3) シルバーハウジング

八日市団地 (金沢市 シルバーハウジング)

事業年度 H13-14、RC 造 5F

公営 32 戸

【新設】

高齢者世帯に安心して暮らせる住宅を供給するため、全 32 戸のうち、シルバーハウジングとして 17 戸、車椅子にも対応した住戸 3 戸が整備された。

シルバーハウジング住戸には緊急通報装置が設置され、万一異常があった際、日中は併設された生活相談室に待機するライフサポートアドバイザー (L S A) へ、休日・夜間は警備保障会社へと連絡が行くシステムとなっている。L S A は緊急時の対応のみならず、入居者の安否確認、福祉・医療・年金等の情報提供や日々の生活に関する相談等を行うことにより、幅広く高齢者の生活をサポートしている。

また、入居者および地域の高齢者のための交流施設「お年寄り談話室」を設け、生き生きと暮らしていける場を提供している。



八日市団地



八日市団地 お年寄り談話室

二勢団地 (輪島市)

事業年度 H13-16、RC 造 4-5F

86 戸 (公営 76 戸、特公賃 10 戸)

【建替】



二勢団地

輪島市営住宅の中では最も中心市街地に近い、利便性の高い団地の建替事業である。福祉施設を併設することにより、地域の福祉の拠点であると同時に交流の拠点としての役割も果たす。シルバーハウジングとして 36 戸 (うち車椅子対応 4 戸) が整備され、L S A が生活援助にあたることとなっている。

環境との共生をコンセプトに、省エネルギー、省資源、環境負荷の軽減に努めている。また、輪島の街なみのイメージを継承したデザインとするなど、周辺景観・まちづくりへの配慮がなされている。



二勢団地 福祉棟



二勢団地 屋上緑化

(4) 木造住宅

大倉団地（輪島市）
事業年度 H13-14、W 造 1・2F
20 戸（公営 10 戸、特公賃 10 戸）【移転建替】

市内でもっとも北に位置する町野地区に建てられた、大倉小学校の跡地を活用した団地である。

計画に先立ち地域の住宅事情や需要調査が行われ、公営住宅 10 戸のうち、6 戸が高齢者向けの平屋建てとして整備された。

田園や山並みなどの豊かな景観と、周辺の民家を強く意識し、住棟は基本構造部を木造としている。また、防火性能、遮音性能及び耐震性能の向上のため、界壁はすべて鉄筋コンクリート造としている。



大倉団地

末坂住宅団地（中能登町・旧鳥屋町）
建設年度 H2、木造 2F
公営 8 戸 【新設】



末坂住宅団地

能登地方に伝わる風格あるあづまづくりの住宅。中央に通路を配した 2 戸 1 棟形式の 2 階建てとなっている。急勾配の黒瓦大屋根と、地元の杉材を用いた腰壁、そして屋根と腰壁を結ぶ白壁など、能登の住宅の特色を反映させている。

全戸とも前庭角に紅白の梅の木を植栽し、敷地周囲には生垣として貝塚伊吹をめぐらせ、周辺景観への配慮がなされている。

(5) パートナーハウジングシステム方式による住宅

ほうだつ団地（宝達志水町・旧押水町）
事業年度 H11-12、RC 造 3F
特公賃 15 戸 【新設】

石川県住宅供給公社による「パートナーハウジングシステム」方式（公社建設型市町村営住宅制度）により供給された、県内初のスケルトン・インフィルの理念を取り入れた住宅である。

高耐久の躯体と、壁式ラーメン構造の採用により自由に間仕切りを移動できる可変性の高い内装を併せ持っており、インフィルのみのリフォームにより耐用年数の延伸が可能である。

また、生ゴミを処理して下水道へ流すディスポーザーを採用するなど、環境への配慮もなされている。



ほうだつ団地